

小学4年 国語科

ごんぎつね

～新見南吉の作品を読もう～

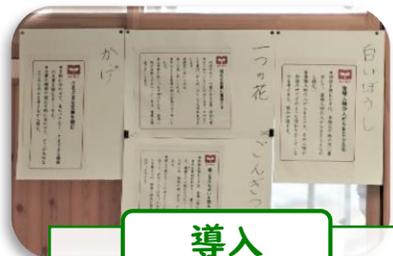
学校教育目標

ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生き抜く子供の育成
～自立・協働・創造～

授業の流れ

授業のポイント

「ごんぎつね」の学習や、これまでの読書活動を生かして新見南吉の作品について交流会を行う。別の作品を読んだ児童でグループをつくり、児童の「伝えたい」「知りたい」という気持ちを引き出し、「主体的な学び」を実現する。



導入

「ごんぎつね」の学習や、これまでに学習した物語の「読み方」を振り返り、交流の際に生かせるようにする。



展開

- ① 「初めて」「共感」「相違」の3つの観点で聞き、お返しができるようにすることを確認する。
- ② 自分の選んだ本について交流する。
- ③ 「新見南吉さんはどんな人だったのか」について話し合い、複数の作品から見えてくる新見作品の特徴について考える。



終末

交流を通して気付いた「同じ作者の本を読む」という読み方の面白さについて自分の考えをシートにまとめる。



指導項目

- C 読むこと
カ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

評価について

交流の中の児童の発言や、「まとめ」の際に児童が書いたシート等を基に、「一人一人の感じ方に違いがあることに気づき、本に親しもうとしているか」について評価する。

目指す児童の姿

- 考えをまとめたり、さらに良い考えにするために意見を出し合っている。

この授業は、学校教育目標にある「創造」の力を高めることにつながる授業である。まず、異なる作品を読んだ児童がグループの中で感想を交流する。そして「新見南吉さんはどんな人だったと思うか」について話し合い、複数の作品に共通する特徴を見出していく。対話を通して自分たちのグループの「新見作品の特徴」をまとめる過程で「創造」の力を高める。